

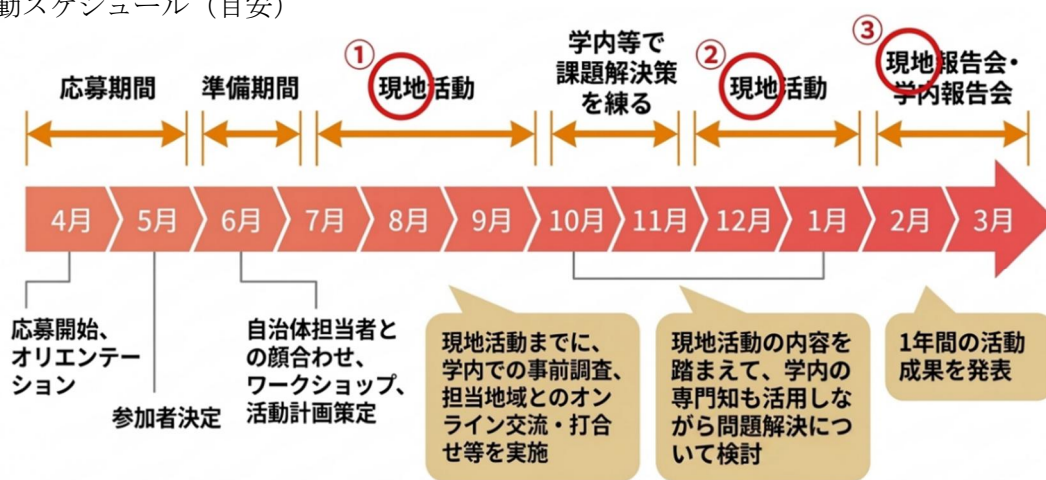
東京大学「フィールドスタディ型政策協働プログラム（FS）」実施概要

1. 概要

・地方自治体が抱える課題に対し、学生が1年間かけて調査や現地活動を行い、解決へのアプローチを提案する取り組み。・多様な関係者と協働し、社会的課題に果敢にチャレンジするリーダー人材の育成を目的とする。

・2017年度の開始以降、毎年多くの学生が活動に参加している。※栗東市の参画は今年度が初

■活動スケジュール（目安）



※10月～1月、2月にもワークショップを各1回開催

2. 東京大学 FS に向けた課題設定

歴史文化資源に着目し、学生に対し以下の内容を提示。

■現状と課題

①維持・継承の危機

…歴史的建造物の空き家化、および高齢化に伴う地域活動団体の継続性の課題。

②経済効果の低迷

…旧和中散本舗の公開をはじめとする事業が観光消費額拡大に結びついていない。

③連携の不足

…推進主体間や地域内における有機的な連携・協働の不足。

⇒放置された場合、地域コミュニティの疲弊と貴重な文化資源の消失につながる

■目指すべき姿

歴史文化資源や自然資源の確実な保全と利活用

⇓

「持続的な地域経済の発展」「地域の活性化」「りっとうブランドの向上」を一体的に達成

⇓

持続可能な地域社会の構築へ

■学生に期待する役割

公正性・透明性を担保しつつ、市内外の関係者と連携して以下の3本の柱を軸とした、斬新な観光振興策の企画・立案。

○歴史や伝統文化の継承 ○地域社会との共生 ○栗東ブランドの形成

3. 今後の予定

○第一回現地活動 <9月25日(金)～28日(月)> 調査・視察

…東海道のまち歩き、市職員や地域で活動するNPO法人との意見交換会などを予定。

○第二回現地活動 <日時未定> 提案事項の実施

○現地報告会 <日時未定> 実施後の振り返り

⇒本市へは計3回訪問

4. その他

7月3日(金)の定例記者会見にて報道機関に資料提供予定。